

## ◇ジャーナリストをめざす日韓学生フォーラム趣意書◇

2017年8月

日韓学生フォーラム実行委員会

政治のメディア支配、フェイクニュースやポストトゥルースといった動き、ジャーナリズム・メディアを取り巻く現状は厳しい。それだけに、これからジャーナリストをめざす若い人たちには、なぜジャーナリストになるのかという自問と覚悟が必要といえるだろう。

一方で自分たちの暮らす国を知るためにも隣りの国と自分たちの国の歴史や現状を、お互いを通して相対化していくことは、これからのジャーナリストにとって欠かせない視点だ。その点で韓国は、日本とのつながりが深く、歴史認識の問題から文化交流、北朝鮮問題、実はお互いの国がお互いを映し出す鏡になっているとも言えないだろうか。

今回の企画はジャーナリストを志望する日韓の学生が数日間、韓国で集い、学び、交流を深めていくことで、その一歩を踏み出すきっかけ作りをしていきたいという願いをこめている。これまで韓国でメディアの特派員を経験したジャーナリストや研究者が中心になり、韓国側は梨花女子大学ジャーナリズムスクールの協力を得る。さらに日本ジャーナリスト会議(JCJ)とも呼応する形で、この秋、第1回目のフォーラムを開催する。

### ○フォーラムの概要

日時： 2017年11月1日(水)～5日(日) 4泊5日 韓国ソウル現地集合・解散

内容： 日韓の歴史を学ぶ 双方学生の発表・意見交換(通訳を交えて)講演

ナヌムの家など歴史認識・慰安婦問題に関する施設訪問

韓国メディア(新聞・放送局)訪問

\*ソウル市長へのインタビュー(予定)

\*板門店ツアー (\*要調整)

募集： 日本側 ジャーナリズム関係の大学研究者を通して学生を募集

5人以上でフォーラムを実施(10人程度が目安)

韓国側は梨花女子大学フロンティアジャーナリズムスクール(男女共学)の学生

\*出発前に事前オリエンテーション実施(10月 東京)

費用： ・実費(宿泊費合計1万2000円程度=ゲストハウス利用)

・食費・交通費は交通カードを購入(主に地下鉄、バス) 2万円程度

・板門店ツアー 約1万円

・合計 4万2千円 (\*航空券は各自用意)

\*海外旅行保険には必ず個人で加入

○フォーラム日程のイメージ

▽1日目 夕方ソウル集合 梨花女子大学でオリエンテーション・懇親会

▽2日目 韓国メディア訪問(新聞社・放送局・日本の支局)

ソウル市長インタビュー

▽3日目 ナナムの家訪問(在所者の方々と昼食)

ソウル市内観光

▽4日目 板門店見学ツアー

梨花女子大学・まとめ意見交換

▽5日目 現地解散

○日韓の学生で話しあうテーマ

・歴史認識問題 慰安婦問題

・韓国の政治・デモクラシー 朴大統領罷免・逮捕 新大統領選出

・北朝鮮問題 相次ぐミサイル発射 日韓米中の思惑

\*フォーラムでは日韓の学生が同行し通訳にあたる

○実行委員(順不同)

菱木一美(元共同通信論説副委員長、広島修道大学名誉教授)\*実行委員長

植村隆(元朝日新聞記者)

新崎盛吾(前新聞労連委員長、共同通信記者)

往住嘉文(北海道新聞編集委員)

西嶋真司(RKB 毎日ディレクター)

田村元彦(西南学院大学法学部准教授)

村上雅道(長崎県立大学シーボルト校国際社会学部長)

○事務局 日本ジャーナリスト会議

須貝道雄・古川英一